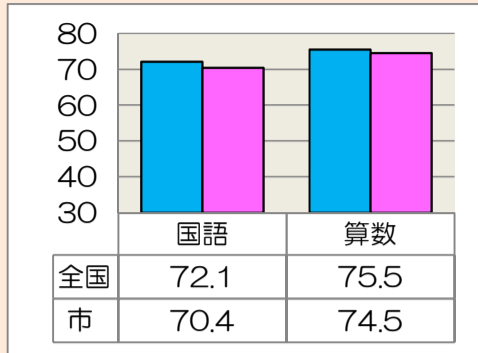
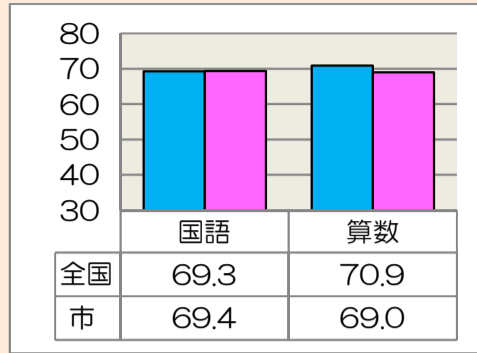


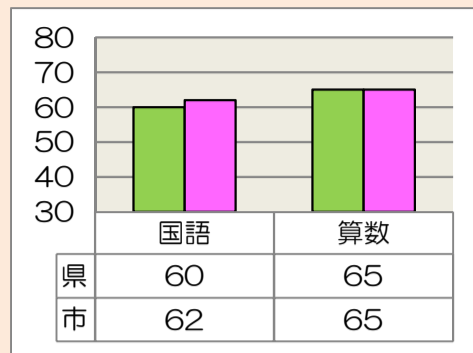
【小学3年生】市学力



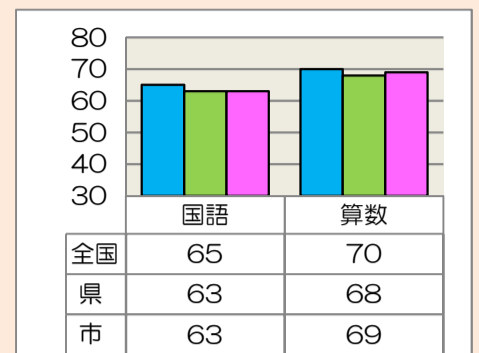
【小学4年生】市学力



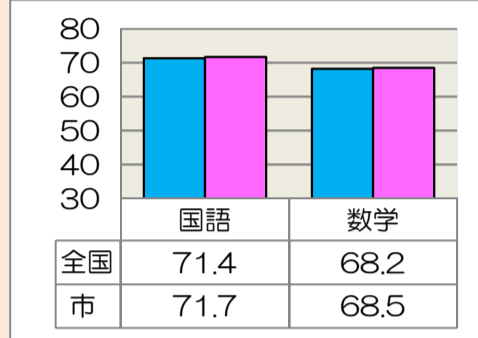
【小学5年生】県学力



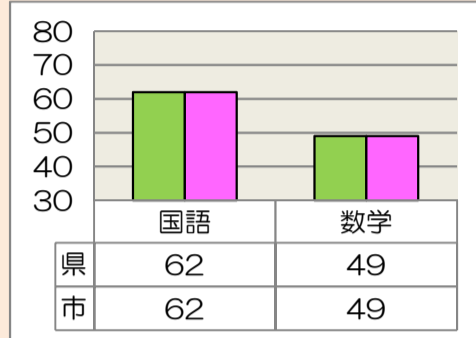
【小学6年生】全国学力



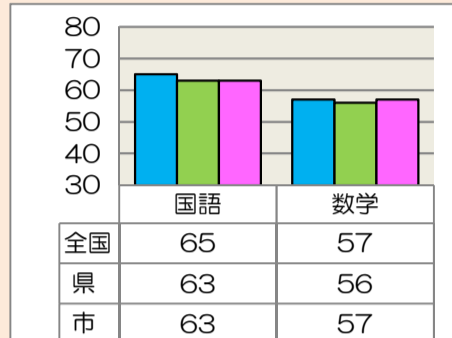
【中学1年生】市学力



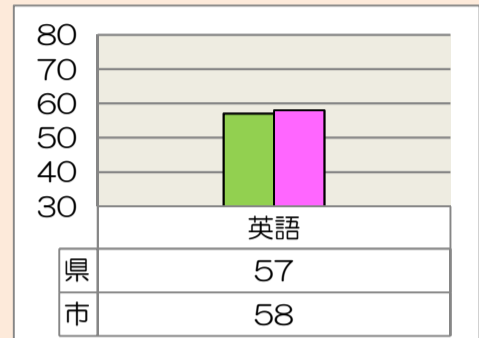
【中学2年生】県学力



【中学3年生】全国学力



【中学3年生】県学力



【実施日】

国語科・算数科/数学科：令和3年5月27日（木） 英語科：令和3年5月28日（金）

【各学力調査の対象学年・教科】

- ◇長崎市学力調査
 - 小学3・4年生（国・算）
 - 中学1年生（国・数）
- ◇長崎県学力調査
 - 小学5年生（国・算）
 - 中学2年生（国・数）
 - 中学3年生（英）
- ◇全国学力・学習状況調査
 - 小学6年生（国・算）
 - 中学3年生（国・数）

※結果は、正答率（％）で表記



全国学力・学習状況調査結果の概要と改善の方向性

1 学力調査結果の概要

(1) 良好な項目

- 小学校国語では、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えたり、資料を活用して自分の考えが伝わるように話したりする問題に成果が見られる。中学校国語では、長年課題であった「自分の考えを書く」問題において、正答率が全国平均を上回るなど改善が見られる。
- 小学校算数では、棒グラフから数量や項目間の関係を読み取ったり、必要なデータを集めたりする問題に成果が見られる。中学校数学では、与えられた情報から考察の対象を捉えたり、問題解決に必要な基本的な情報を読み取ったりする問題に成果が見られる。
- 中学校英語では、まとまりのある英語の対話文を読んで、「概要を理解すること」に改善が見られる。

(2) 課題がある項目

- 小学校国語では、与えられた条件に合わせて書く「記述式」の問題の正答率が低く、また、文の中における修飾と被修飾との関係を捉える問題に課題が見られる。中学校国語では、適切な語を抜き出す問題や適切な敬語を選択する問題の正答率が全国平均を下回り、文章の読解や言語知識の習得に課題が見られる。
- 小学校算数では、基本図形の面積の求め方や量の保存性、加法性等の理解に課題が見られる。中学校数学では、事象を数学的に解釈したり、数学的な表現を用いながら説明したりする問題に課題が見られ、無解答率も高い傾向がある。
- 中学校英語では、対話文の流れから判断し、適切な英文を書く問題に課題が見られ、無解答率も高い傾向がある。

2 児童生徒質問紙調査（生活習慣や学習環境等の調査）の結果の概要

(1) 良好な項目

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」の項目において、小学校では全国平均を上回っている。
- 「いじめはいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたい」の項目において、小・中学校ともに全国平均と比べて高く良好である。
- 「一日あたりの読書時間」の項目において、特に30分以上読書をする児童・生徒の割合が全国平均を上回っている。
- 「家庭学習」の項目において、小学校では1時間以上学習する児童の割合は全国平均を上回っている。また、「計画を立てて勉強をしている」の項目では小・中学校ともに全国平均を上回っている。
- 「基本的な生活習慣」の「起床」「朝食」「就寝」の項目において、全国平均を上回っており、良好である。

(2) 課題がある項目

- 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」の項目において、小・中学校ともに全国平均を下回っている。
- 「家庭学習」の項目において、中学校では家庭学習を2時間以上する割合が、全国平均を下回っている。
- 「1日当たりどれくらいの時間ICT機器を勉強のために使っていますか」の項目において、小・中学校ともに全国平均を下回っている。
- 「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていました」の項目において、小学校で約3割、中学校で約4割の児童・生徒が不規則な生活を送っている。

3 改善の方向性

- ①基礎・基本定着のための方策 ⇒ (例) 一人ひとりの弱点を克服できるような個に応じた適切な指導やAIドリル等を用いた学習
- ②課題改善のための授業づくり ⇒ (例) 児童・生徒が、課題を自分事として捉え、主体的な取組を育む授業づくり
- ③家庭学習の習慣化と質的向上 ⇒ (例) 小：今日、学習したことの復習の徹底、中：自分で計画を立てての実践継続、小中：家庭学習の仕方についての具体的な指導
- ④夢や目標に向かって挑戦する力の育成 ⇒ (例) 小学校からのキャリア教育の充実や体験活動を重視した取組
- ⑤チームで取り組む学力向上 ⇒ (例) 「学力向上プラン」「校内研修」「研究授業」等の取組

学校・家庭・地域が一丸となった継続的な取組推進